



お経の意味②

今回は、当寺においても枕経・ご法事の際などによくお唱えしている「妙法蓮華経如来寿量品偈」についてご一緒に学びましょう。

【妙法蓮華経如来寿量品偈原文】

自我得佛来 所经诸劫数 无量百千万 億載阿僧祇 常说法教化 無数億衆生 令入於佛道 爾来無量劫 為度衆生故 方便現涅槃 而実不滅度 常住此說法 我常住於此 以諸神通力 令顛倒衆生 雖近而不見 衆見我滅度 廣供養舍利 威皆懷戀慕 而生渴仰心 衆生既信伏 質直意柔軟 一心欲見佛 不自惜身命 時我及衆僧 俱出靈鷲山 我時語衆生 常在此不滅 以方便力故 現有滅不滅

余国有衆生 恭敬信衆者 我服於彼中 為説無上法 汝等不聞之 但謂我滅度 我見諸衆生 没在於苦海 故不為現身 令其心恋慕 因我心恋慕 乃出為說法 神通力如是 於阿僧祇劫 常在靈鷲山 及余諸住处 衆生見劫尽 大火所燒時 我此土安隱 天人常充滿 園林諸堂閣 種種宝莊嚴 宝樹多花果 衆生所遊樂 諸天擊天鼓 常作衆伎樂 雨曼陀羅花 散仏及大衆 我淨土不毀 而衆見燒尽



憂怖諸苦惱 如是悉充滿 是諸罪衆生 以惡業因緣 過阿僧祇劫 不聞三宝名 諸有修功德 柔和質直者 則皆見我身 在此而說法 或時為此衆 説佛寿無量 久乃見佛者 為説佛難值 我智力如是 慧光照無量 壽命無数劫 久修行所得 汝等有智者 勿於此生疑 當斷令永尽 佛語実不虚 如医善方便 為治狂子故 実在而現死 無能説虚妄 我亦為世父 救諸苦患者 為凡夫顛倒 實而言滅 以常見我故 而生憍恣心 放逸著五欲 墮於惡道中 我常知衆生 行道不行道 隨応所可度 為説種種法 每自作是念 以何令衆生 得入無上道 速成就佛身

迷いの人々は焼き尽くされて、憂いとおそれとあらゆる苦悩がこのように全て満ちあふれていると受け止めてしまうのです。この多くの煩惱の過ちによる人々は、悪しき心と行いの因縁によって無限に近い時間をかけても仏・法・僧の三宝の名前さえも聞くことができないのです。が、多くの世界で良き心を育てる実践によって心柔らかく真つ直ぐで素直な人は、つまり、皆、私の命はそこにて真実を語っていると受け止める事ができるのです。又ある時は、この人々の為に仏のいのちは無限だと語り、また、長い時間を掛けてようやく仏に会えた人には、その人の為に仏に会うことは難しいと語るのです。私の智慧の力はこのように（自在であり）、仏の智慧の光が照らすことは限り無く、寿命が数えられないほどであるのは、永遠なる命の根源についての善き行為を修行して獲得したからです。君達よ、智慧ある人は、これについて疑いを起こしてはいけません。そのような疑いは、まさに断ち切って永遠に滅ぼしなさい。仏の言葉は真実であって嘘はないのです。（それはあたかも）良医が優れた手立てで本心を失った子供を治療する為に、事実は生きているのに、しかし死んだと言いつのを、それは嘘だと責める人はいないようなものです。私も同様に、迷いの世間の人の父親となつてあらゆる苦しみの人を救うのです。迷いの人は逆さまな心の為に、実にはそこにいるのに、しかし入滅したと語るのです。何時でも私と会うことができる為に油断と思いがかりの心を起こして、ふしだらになつて、五官の欲と財・色・食・名誉・睡眠の五つの欲望に馴染み、悪しき生き方に墜ちてしまふのです。私は何時でも、人々の仏道に励む者と励まない人を知っているのです。（それで）救うべき縁に応じて彼等の為に色々な教えを説くのです。私は何時でもこのように心に思い続けているのです。どの様にして人々を、この上なき真実の道に入らせて速やかに仏の命を實現させようか、と言つことだけを（考えているのです）、と。

※参考：『傍訳妙法蓮華経如来寿量品偈文第十六 鳩摩羅什三蔵訳』（著：中野東禅）

【現代語訳】

私は、悟りを得てから過ぎてきた多くの長い時間は限り無きこと百千万億であり、万の十乗であり、万の十四乗程なのです。何時でもずっと教えを説き、無数で億もの苦しむ人々を導いて仏の道に入らせて、それから限り無い長い時間なのです。迷いの人を救う為に、教えの手立てを用いて永遠の入滅を表現したとしても、しかも、実際には入滅していません、何時でもこの所にとどまっているのに、多くの神のよう不思議な力で多くの人は私の入滅を見て、広範囲に仏の舍利を供養し、全て皆、憧れの心を抱いて、飢えた者のように頼む力を起こします。人々は、すでに信じ感服し、心正しく真つ直ぐで、心柔らかとなり、純一の心で仏に会いたいと願つて、自分を捨てられたら、そのとき私と仲間の多くの僧侶たちは、共に法華経説法の靈鷲の山頂に出現するのです。私はその時人々に話します。永遠にここにて隠れることはないのだが、導きの手立てのゆえに隠れることと・隠れざることを現すのです。他の国の人々が敬い信じ喜び人があれば、私は再びその国において、その人達の為にこの上なき教えを説くでしょう。あなた方は、この働きを聞かないで、ただ、仏はお隠れになったとのみ思うのです。私は多くの迷いの人々を見ると、苦しみの海に沈んでいます。その人達に求めの心を起こさせ、その心が憧れることによつて、そこで出現して、その人の為に真実の教えを説いているのです。神のような不思議な力はこのようなものにはいるのです。人々が無限に近い世界の最後がやってきて、焼き尽くされると感じる時も、私の国は安穩であり、天人が常に充滿し、その園や林、諸々の建物は種種の宝にて莊嚴され、宝の樹には多くの華が咲き果物が実り、人々が遊樂しています。諸々の天人が太鼓を打つて、何時でも様々な音楽を演奏し、マンダラ華と言つ白蓮を天空からふらし、仏と多くの人々にふりかけられるのです。私の住む悟りの世界は壊れることはないのに、

孟蘭盆会行事点描



QRコードをスマートフォン等で読み取ることでご覧頂けます。



下北半島北通りの曹洞宗寺院各位にご協力いただき、孟蘭盆会施食会を修行しました。 ※YouTubeにてライブ配信いたしました。



QRコードをスマートフォン等で読み取ることでご覧頂けます。



送り火・迎え火萬灯会の様子は、大安寺 facebook ページにてライブ配信いたしました。



送り火・迎え火萬灯会には、多くの方より献灯いただきました。